

財務状況を全般的に説明する資料

学校法人鉄蕉館財務状況（決算）報告について

◆平成 29 年度決算の主な概要

1. 資金収支計算書（活動区分資金収支計算書）

【法人全体】

18 億 8,934 万円となった。

経常費補助金、繰越資金増額等により前年度対比プラス 1 億 9,619 万円

【亀田医療大学】

13 億 1,121 万円となった。

前述の他、学納金収入等の増収により前年度対比プラス 1 億 2,162 万円

2. 事業活動収支計算書

【法人全体】

事業活動収入は 11 億 9,560 万円となった。

学生生徒等納付金（昨対△1,916 万円）、施設設備寄付金（昨対△5,046 万円）等の減収による前年度対比マイナス 1,338 万円

事業活動支出は 10 億 6,830 万円となった。

教育活動収支に係る教育研究経費及び管理経費、減価償却額耐用年数の見直し(約 2,800 万円の抑制)等により前年度対比マイナス 2,077 万円と費用の抑制となった。

当年度収支差額は 8,908 万円となった。

前年度対比プラス 4,562 万円となり前年同様、黒字となった。

【亀田医療大学】

事業活動収入は 8 億 4,895 万円となった。

寄付金減収（昨対 5,003 万円）等により前年度対比マイナス 959 万円

事業活動支出は 7 億 3,006 万円となった。

前述の他、人件費、経常経費抑制による前年度対比マイナス 1,056 万円となった。

当年度収支差額は1億1,234万円となった。
前年度対比プラス3,671万円となり前年同様、黒字となった。

3. 貸借対照表（平成30年3月31日時点）

【法人全体】

総資産残高は41億2,392万円となった。
前年度対比プラス1億3,955万円

総負債残高は12億8,884万円となった。
前年度対比プラス1,225万円

純資産残高は28億3,508万円となった。
前年度対比プラス1億2,730万円

【亀田医療大学】

総資産残高は30億261万円となった。
現金預金、教育研究用機器備品（IT基盤更改、補助金によるタブレット端末導入による）の増額による前年度対比プラス1億4,164万円

総負債残高は7億3,544万円となった。
前年度対比プラス2,275万円

純資産残高は22億8,606万円となった。
前年度対比プラス1億1,888万円

法人全体としては事業活動における収入に関しては依然として寄付金に多く依存している状況である。大学部門においては平成29年度補助金収入にて経常費補助金の改革総合支援事業（タイプ1）、経営強化集中支援事業（タイプA）及び教育活性化設備事業補助金の獲得により、前年度対比約5,600万円の増収となったが、平成30年度補助金において選定基準の変更により大幅な減収も想定される。今後も引き続き、積極的な外部資金の獲得や経費節減に努め、財務基盤の安定化を目指す。